WILLCOM

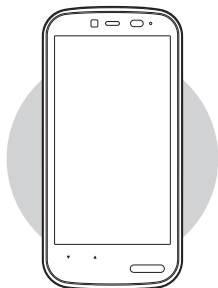
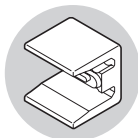
WX
04
SH
AQUOS PHONE es

WX04SH
取扱説明書
（保証書）

SHARP®

このたびは、「WX04SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
「WX04SH」をご使用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。

ご使用前に「安全上のご注意」（☞P.4-8～P.4-15）を必ずお読みください。

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が本製品の使用を誤ったときや、静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
- 重要な内容は必ず控えを取っておいてください。
- 本製品および本書の記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

■WX04SH本体

■SDカード・USIMカード抜挿ツール（試供品）

■microSDカード※（試供品）
※お買い上げ時には、本機に取り付けられています。

■取扱説明書（保証書）［本書］

- 万一、不足があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ACアダプタは付属していません。オプション品（別売）の「**ウィルコム用充電ACアダプタ01（AC01-MU-K）**」をお買い求めください。

あなたが今、手に取っている電話機—WX04SHは、おなじみの「PHS」でしょうか。
それとも、話題の「スマートフォン（スマホ）」でしょうか。
いいえ、そのどちらでもありません。
もちろん、単なる「スマホの形をしたPHS」でもありません。
「WX04SH」は、「まったく新しいPHS」であり、「まったく新しいスマホ」です。
それでは、「WX04SH」の楽しく便利で、ちょっと不思議な正体を、順にお見せしましょう！

取扱説明書の見かた（もくじ）は、
viページにあります。

WX04SH?

画面に触れて操作できる タッチパネル操作

スマートフォンには、キーはほとんどありません。多くの操作は画面に触れて行います。文字入力も、画面に表示されるキーボードで入力。「**やりたいことに触れる**」という直感的な操作なのです。

お好みで追加できる 自由なアプリケーション

スマートフォンの醍醐味は、何と言っても「**アプリケーション**」。「**Playストア**」に登録されている豊富なアプリケーションの中から、お好みのものを追加（ダウンロード）して楽しめます。

大画面と高速通信で インターネットも快適

インターネットとの親和性もスマートフォンの大きな特長です。大画面と高速通信により、パソコン用サイトもらくらく閲覧。情報検索やアプリケーションのダウンロードも、快適に利用できます。

頼もしい。

「PHS」と「携帯電話(3G)」2つの電話番号

「PHS」と「携帯電話」の2つの電話番号が利用可能。通常は、PHSの高品質での通話をメインにして、いざ！というときは、携帯電話の広いサービスエリアを十二分に活用することができます。

「3G」と「PHS」2つのデータ通信

データ通信も「3G」と「PHS」との二本立て。普段は、3Gの高速通信を利用して快適に、また通信環境によってPHSがサポート。Wi-Fi通信も加えて、「つながる」データ通信を提供します。

「メール(MMS)」と「SMS」2つのメール

携帯電話やパソコンなどとやりとりできる「メール(MMS)」と、電話番号を宛先にした「SMS」に対応。本機で使えるGmail™やインターネットメールも加えれば、相手を選ばないメール環境を実現できます。

3つの2が 新しい。

さらに、「WX04SH」だから

でも、「まったく新しい？」なので

4つの？も当然でしょう。

1 便利そうだけど、**切り替えが面倒**じゃないの？

「**2つの電話番号**」と「**2つのデータ通信**」は便利そうだけど、使うたびに切り替えたり、何か設定が必要なら、少し面倒かな。常に意識していられるわけでもないし。

2 簡単そうだけど、**細かな設定**もできるの？

「**意識せずに使える**」ことはわかったけど、手軽に切り替えられたり、必要なときは事前にしっかり設定しておけることも必要。そのあたりの操作性や柔軟性は大丈夫かな？

3 使えそうだけど、**他の機能**はどうなのかな？

「**PHS**」と「**スマートフォン**」のいいところを組み合わせているようだけど、組み合わせたことで、機能が極端に少なくなったり、携帯性や操作性が悪くなっている、なんてことはないよね？

4 使いたいけど、**どこから取り組めば**いい？

はじめてのスマートフォンなので、本当に使いこなせるかが心配。この「**取扱説明書**」を順に読むだけでちゃんと使えるようになるのかな？かなり薄いようだけど。

そんな声にも、「WX04SH」は

4つの○でお応えします。

1

回線を意識することなく、2つの回線を活用できます。

お買い上げ時には、自動的に「**電話はPHS**」、「**データ通信は3G**」を選択するよう設定されています。毎回切り替えたり、回線を意識することなく手軽にご活用いただけます。

2

電話の切り替えはキー1つ、事前の利用設定も可能です。

電話回線の切り替えは、発信前にキーを1つタップするだけ。電波状況や相手によって、手軽に選択できます。もちろん、データ通信を含めて利用する回線の設定は、事前に細かく行えます。

3

PHSとしてもスマホとしても、自信を持ってお勧めできます。

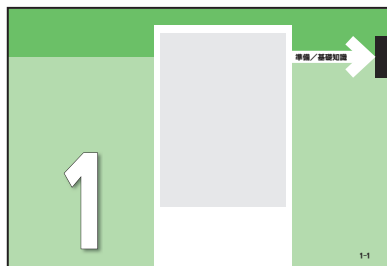
「**WX04SH**」は標準的なスマートフォンの機能はそのままに、PHS（通話／データ通信）とそれに付随する機能が備わっています。サイズもコンパクトで、バランスのとれた自信作です。

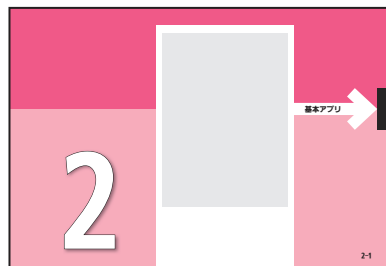
4

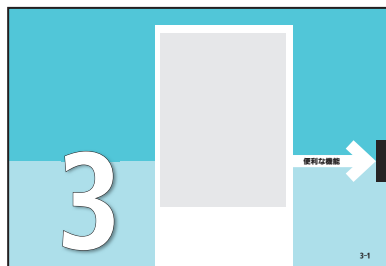
画面で見られる、オンラインマニュアルを準備しました。

まず、次ページを参照のうえ、本書をお読みください。基本的な使いかたはご理解いただけるでしょう。より詳しい情報については、「**オンラインマニュアル**」（☞P.2-14）を参照してください。

1 準備／基礎知識

本機をお使いになるための準備から、基本操作までを流れに沿って説明しています。本機をお使いになる前に、必ずお読みください。

2 基本アプリ

電話やメール、インターネットなど、基本的なアプリケーションの使いかたを説明しています。大事な部分ですので、ぜひお読みください。

3 便利な機能

Wi-FiやSDカード、本機の設定など、よく使う便利な機能を紹介しています。目的に応じて、必要な部分をお読みください。

4 付録

本機を便利に、そして安全に使いこなすための重要な情報をまとめています。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

ルールを守りましょう

本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。以下の内容および「安全上のご注意」(☞P.4-8〜P.4-15)をお読みのうえ、正しくお使いください。

こんな使いかたはやめましょう

■外部接続端子を接触させない

金属製のストラップやヘアピンなどで外部接続端子同士を接触させると非常に危険です。持ち運び時にも十分ご注意ください。

■分解／改造しない

感電やけがの原因となります。修理などはウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにご依頼ください。

■防水を過信しない

防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけたりすると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。
また、真水以外はかけないでください。

■加熱しない

乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。
また、高温になる場所で使用しないでください。

■指定品以外は使用しない

ACアダプタなどは、必ず指定のものをお使いください。

■電池の交換はお問い合わせ先へ

本機は電池を内蔵しています。取り扱いを誤ると、漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
また、内蔵電池の交換については、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにご相談ください。

■運転中は使用しない

自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。

マナーを守りましょう

本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。次のような場所では、特にご注意ください。

■航空機内

電源を切りましょう。
運航の安全に支障をきたす可能性があります（機内モードに設定することなどで、航空機内で電話機を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください）。

■医療機関

医療機関の指示に従いましょう。

■電車やバスなどの交通機関

車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

■混雑した場所

事前に機内モードに設定するか、電源を切りましょう。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

■劇場や映画館、美術館など

周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

■レストランやホテルのロビーなど

静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。

■街の中

通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための便利な機能

■マナーモード

ロングタッチ

着信があったりアラームが動作したりしても、本機から音が出ないようにします。マナーモードを設定／解除するときは、3ラインホームまたはウェルカムシート（ロック画面）で▼に長く触れます（以降「**ロングタッチ**」と表記）。

- マナーモードを設定していても、カメラ撮影時のシャッター音、ビデオカメラ撮影時の撮影開始／終了音、音楽・動画・ゲームの音などは鳴ります。

■簡易留守録

電話を受けられないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

■機内モード

電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。機内モードを設定／解除するときは、「**電源を切る**」（☞P.1-9）の画面で機内モードをタップします。

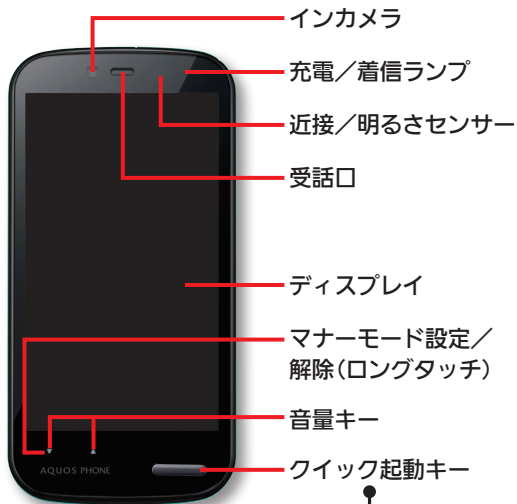
■ドライブマナー

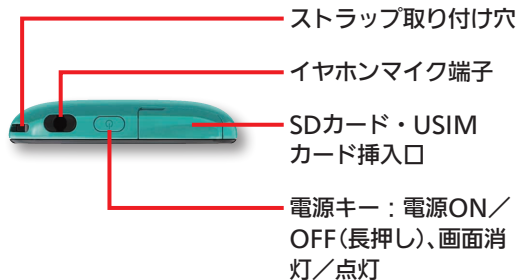
着信があっても、電話を受けられないようにします。ドライブマナーを設定するときは、「**電源を切る**」（☞P.1-9）の画面で🚗をタップします。

各部の名前／キーのはたらき

本機について、各部の名前やキーのはたらきを見ていきましょう。
また、これからよく使うことになる、タッチパネルの使いかたも覚えましょう。

● 本書では、電源キー、クイック起動キーを長く押す操作を「**長押し**」と表記しています。

■正面

お買い上げ時には、3ラインホーム（長押しでカメラ）が起動するように設定されています。起動する機能は変更できます。

■天面

■底面

ACアダプタや、パソコンと接続するUSBケーブルは、ここに接続します。

モバイルライトを点灯する

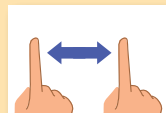
- ウェルカムシート（ロック画面）で▲をロングタッチします。点灯中に画面をタップすると、消灯します。

■背面

タッチパネルの使いかた

本機の画面はタッチパネルです。画面に直接触れて操作することができます。
次の基本操作を覚えておきましょう。

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。

画面に軽く触れて、上下左右に指を軽くはじきます。

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞり、指を離します。

2本の指で画面に触れ、指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

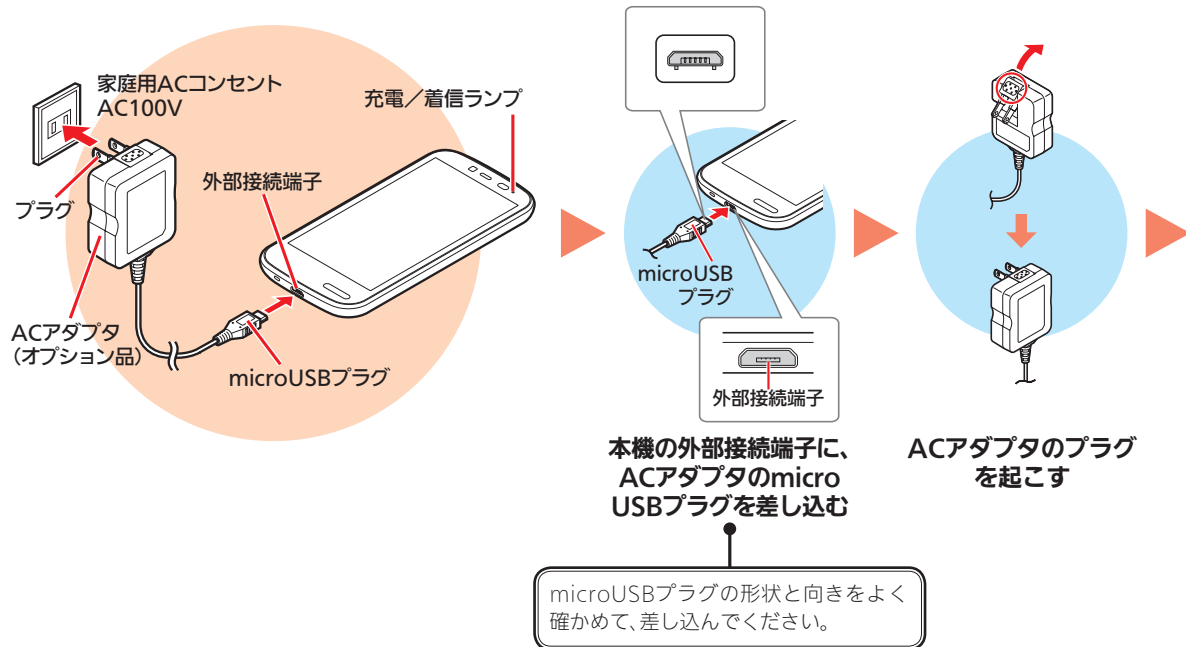
- 画面や音量キーに長く触れて、画面が切り替われば指を離す「**ロングタッチ**」も利用できます。

本機を充電する

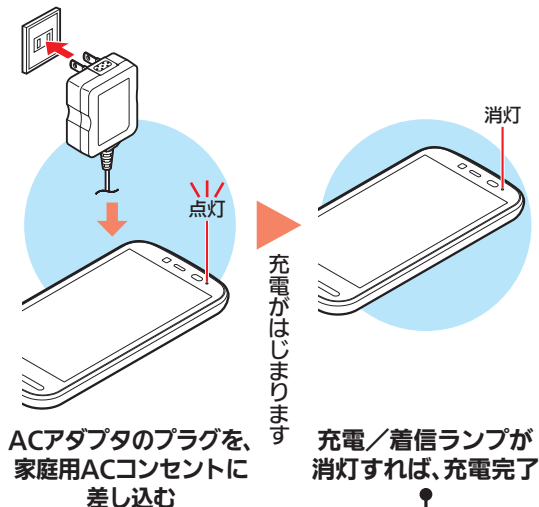
お使いになる前に本機（内蔵電池）を充電しましょう。充電に必要なACアダプタは付属していませんので、オプション品（別売）の「ウィルコム用充電ACアダプタ01（AC01-MU-K）」をお買い求めください。

- 電池残量が少なくなっていると、電源が入らないことがあります。
- 「内蔵電池について」（☞P.4-18）も必ずお読みください。

本機の外部接続端子に、ACアダプタのmicro USBプラグを差し込む

microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、差し込んでください。

ACアダプタのプラグを起こす

充電／着信ランプが点滅しているとき

- 内蔵電池の異常または寿命のため、充電できていません。ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターに、内蔵電池の交換をご依頼ください。

ACアダプタのプラグをコンセントから抜いたあと、本機の外部接続端子からmicroUSBプラグを取り外します。

充電時のご注意

充電にあたっては、次のことにご注意ください。

- ACアダプタは、防水対応していません。本機が濡れているときは、絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 充電するときを除き、ACアダプタのプラグは倒してください。また、コードを強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 充電中は、本機やACアダプタが温かくなることがあります。
- 充電しても電源が入らない場合は、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 お客様相談センターにご相談ください。

リチウムイオン電池について

本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。

- リサイクルのときは、ショートさせたり、分解したりしないでください。火災・感電の原因となります。

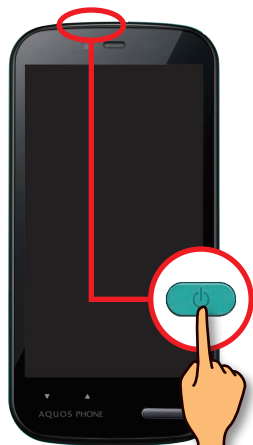
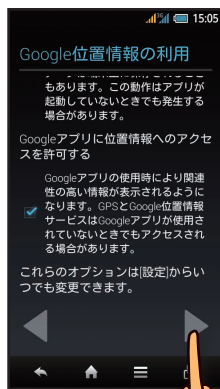
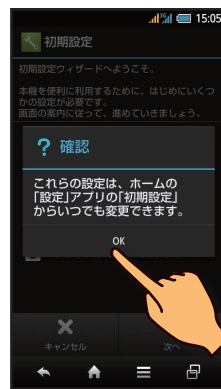
海外での充電について

海外での充電に起因するトラブルについては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電源を入れる／切る

電源を入れて、使い始めましょう。最初に電源を入れたときは、使い始める前にいくつかの手順が必要になります。また、お使いの状態（設定）によっても、手順は異なります。ここでは、代表的な画面を中心に説明します。

●記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

電源を入れる

上の画面は、本機の誤動作を防ぐための画面で、「ウェルカムシート（ロック画面）」と呼びます。

☑をタップすると、Google™位置情報の利用についての設定変更が行えます。

初期設定を行うとき

● 初期設定画面で次へをタップし、各設定の画面に進みます。詳しくは、オンラインマニュアル(☞P.2-14)を参照してください。

あとから初期設定を再実行するとき

● 3ラインホームのショートカットシート(☞P.1-10)で、(初期設定)をタップします。

電源を切る

長押し

電源を切る

OK

上の画面は、アプリケーションを起動するための画面で、「アプリケーションシート」と呼びます。

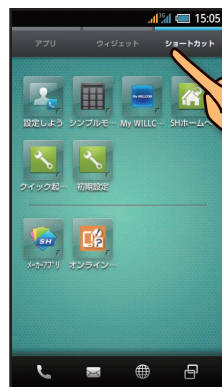
マナーモードや機内モードなどを設定することもできます。何も操作せずもとの画面に戻るときは、↩をタップします。

画面のしくみと基本操作

アプリケーションの起動や設定など、本機のいろいろな操作は、「3ラインホーム」から行います。
3ラインホームは3つのシートに分かれており、目的に応じて使い分けられるようになっています。
ここでは、3ラインホームの各シートを中心に、画面のしくみや基本操作について見ていきましょう。

3ラインホーム

アプリケーションシート
上下フリックで画面を切り替え、アプリケーションを起動できます。

ウィジェットシート
ウィジェット（常駐型アプリケーション）を利用できます。

ショートカットシート
よく利用する機能を登録し、簡単に起動できます。

3ラインホームの各シートは、左右にフリックして切り替えることもできます。

ステータスバー

電波レベル（PHS）
電波レベル（3G）
電池レベル

画面上部には、本機の状態や、着信などをお知らせする「**ステータスバー**」が表示されます。

通知パネル

ステータスバーを下に
ドラッグすると

お知らせを確認したり、本機の設定が行える「**通知パネル**」が表示されます。

通知パネルは、アプリケーション起動中の画面など、3ラインホーム以外の画面からでも表示できます。

ステータスバーに表示されるおもなアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	SMS／メール(MMS)受信		3Gデータ通信優先※
	不在着信あり		PHSデータ通信優先※
	簡易留守録伝言あり		Wi-Fi接続中
	緊急速報メール受信		Bluetooth®利用可能
	圏外(PHS／3G)		マナーモード設定中

※電波レベルアイコンの左上に表示されます。

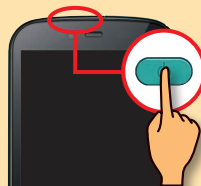
ナビゲーションバーのはたらき

画面下部のアイコンが表示される部分を、「**ナビゲーションバー**」と呼びます。ナビゲーションバーのアイコンをタップすると、その操作が行えます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	1つ前の画面に戻る		3ラインホームに戻る
	メニュー画面を表示		アプリ使用履歴を表示

- お買い上げ時の3ラインホームでは、（電話）／（メール）／（ブラウザ）が起動できます。

画面の自動消灯について

本機は、電池の消費を抑えるため、操作しない状態が続くと、自動的に画面が消灯します。
画面を再点灯するときは、を押します。

アプリケーションを利用する

アプリケーション（以降「アプリ」と表記）は、アプリケーションシートでまとめて管理されており、アプリケーションシートやショートカットシートなどから起動することができます。

- Playストアからアプリを入手（ダウンロード→インストール）し、利用することもできます。

アプリを起動する

アプリケーションシートで、アプリのアイコンをタップ

アプリが起動します

終了するとき
（くり返しタップ）

フォルダアイコン（「**ツール**」など）をタップしたときは、続けて表示されるアプリのアイコンをタップします。

アプリを入手する

アプリケーションシートで（Playストア）

アプリを検索
➡**インストール**

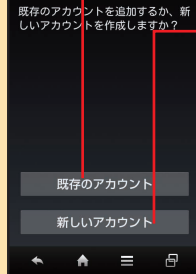
「**Googleアカウントを追加**」の画面が表示されたときは、次ページを参照のうえログインします。

➡同意する

アプリがダウンロード→インストールされます。

Googleアカウントについて

「**Playストア**」のようなGoogleのサービスを利用するときや、カレンダーなどをGoogle内の情報と同期させるときは、Googleアカウントでのログインが必要となります。

パソコンなどで取得済みのGoogleアカウント（メールアドレス）とパスワードを入力してログインします。

本機の操作で、新しいGoogleアカウントを取得してログインします。

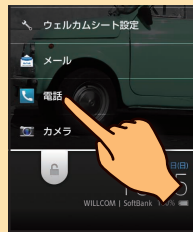
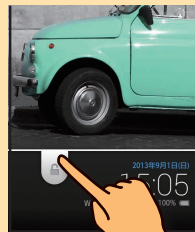
取得に必要な情報は次のとおりです。

- ■名前（姓／名）
- ■アカウント名（ユーザー名）
- ■パスワード
- ■セキュリティ保護用の質問／回答
- ■予備のメールアドレス

●詳しくは、オンラインマニュアル（☞P.2-14）を参照してください。

ウェルカムシート（ロック画面）からアプリを起動する

🔓をタップすると、ショートカットが表示され、アプリを起動することができます。

●ショートカットから起動する機能やアプリは変更することができます。詳しくは、オンラインマニュアル（☞P.2-14）を参照してください。

アプリケーションを利用する（続き）

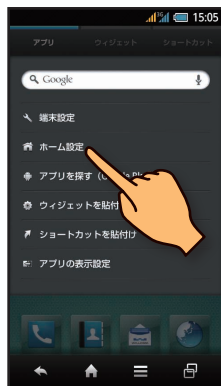
アイコンを移動する

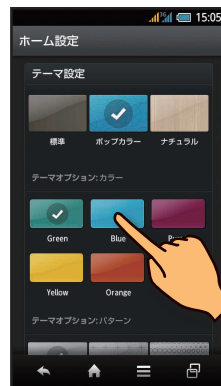
3ラインホームで、移動するアイコンをロングタッチ➡そのまま移動先までドラッグ

フォルダを追加する

フォルダにまとめる1つめのアイコンをロングタッチ➡そのまま2つめのアイコンまでドラッグ

テーマを変更する

3ラインホームで、画面を下にドラッグ

ホーム設定

テーマをタップ

壁紙の画像やカラー、パターンなどをタップ

シートに区切り線を入れる

3ラインホームで､区切り線を入れる位置でピンチアウト

- 区切り線の位置でピンチインすると､区切り線が消去されます｡

ショートカットを追加する

3ラインホームで､追加するアイコンをロングタッチ

ショートカットへ貼付け

ショートカットシートにアイコンが追加されます｡

ウィジェットシートにショートカットを追加するときは、**ウィジェットへ貼付け**をタップします。ショートカットを削除するときは、追加されたアイコンをロングタッチしたあと**はがす**をタップします。

アプリの使用履歴を確認する

ナビゲーションバーの［アイコン］をタップすると､最近使用したアプリの一覧が表示されます｡

- 使用履歴やクイックツールボックスEXのアプリをタップすると、アプリが起動します。
- 使用履歴を左右にフリックすると、使用履歴が消去されます。
- **すべて消去**をタップすると､すべてのアプリが終了し､使用履歴も消去されます｡

文字入力のしかた

本機の文字入力は、画面に表示されるソフトキーボードで行います。
文字入力の基本は「ひらがな」です。ひらがなからは、漢字・カタカナ・英字などに変換することができます。

●ここでは、「**きくよ**」と入力し、どのような文字に変換できるかを見ていきます。

文字を入力する

目的の文字をタップ（文字が確定）

1つのキーには、複数の文字が割り当てられています。
また、1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。

キーボードを閉じるときは、﹀をタップします。

キーのはたらき

キー	はたらき
戻す	文字を確定前に戻す
←	カーソルを左に移動
絵記・顔	絵文字／マイ絵文字※／記号／顔文字を入力
あA1	文字種を切り替え
⌫	文字を削除
→	カーソルを右に移動
🔧	設定項目を表示
↵	改行

※メール（MMS）の本文入力時に利用できます。

次のキーは文字入力中（変換前）に表示されます。

キー	はたらき
↺	文字を逆順に表示
カナ英数	カタカナ／英数字変換
通常変換	通常変換
確定	文字の確定

基本アプリ

電話を利用する

本機は、PHS回線または3G回線を利用して、電話をかけることができます。また、PHS用と3G用の2つの電話番号で電話を受けることができます。
- お買い上げ時には、PHS回線を優先して利用するように設定されています(発信時に切り替えることもできます)。
- 通話中に、もう一方の回線宛にかかってきた電話を受けることもできます。

PHS回線で電話をかける

3ラインホームで📞

電話画面になります

相手の電話番号をタップ➡発信(PHS)(PHS回線で発信)

相手が電話を受けると

通話開始➡
電話を切るとき
通話終了

3G回線で電話をかける

電話画面で、相手の電話番号をタップ➡[PHS/3G]➡発信(3G)

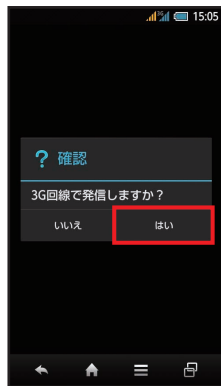
不在着信画面が表示されたとき
- [↩]をタップしてください。このあと、3ラインホームに戻ったときは、再度📞をタップしてください。

電話画面で発信する回線を切り替えるとき
- [PHS/3G]をタップすると発信(3G)(3G回線での発信)に、[PHS/3G]をタップすると発信(PHS)(PHS回線での発信)に切り替わります。

PHS圏外時にPHS回線で発信したとき

- 確認画面が表示されます。OK➡はいの順にタップすると、3G回線で発信できます。

通話終了後に電話帳登録の確認画面が表示されたとき

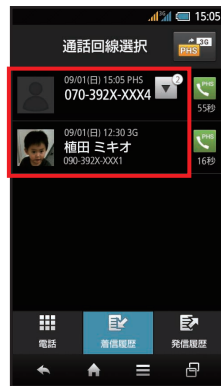
- 登録するときは、電話帳に登録をタップしたあと、画面の指示に従って操作してください。
- 登録しないときは、閉じるをタップします。

電話の履歴を利用する

はい
（3G回線で発信）

相手が電話を受けると

通話開始➡
電話を切るとき
通話終了

電話画面で
着信履歴／発信履歴

履歴一覧画面になります

利用する相手をタップ

履歴詳細画面になります

履歴一覧画面から発信するとき

- 発信する相手の（PHS回線での発信）または（3G回線での発信）をタップします。発信する回線を切り替えるときは、「**通話回線選択**」欄のまたはをタップします。

電話を利用する（続き）

かかってきた回線と別の回線でかけ直すとき

- 相手が片方の回線の電話番号だけを電話帳に登録している場合など、状況によっては同一人物（あなた）からの電話であることが、相手に伝わらないことがあります。ご注意ください。

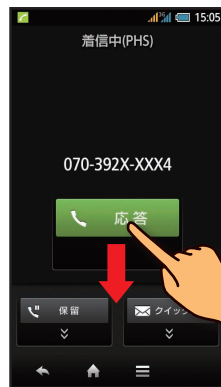
通話中にもう一方の回線宛に電話がかかってきたとき

- ［アイコン］を右にドラッグすると、通話中の電話を保留にして、かかってきた電話を受けることができます。相手切替をタップすると、通話の相手を切り替えることができます。

発信(PHS)／発信(3G)
（発信）

相手が電話を受けると

通話開始➡
電話を切るとき
通話終了

電話を受ける

電話がかかってきたら
応答を下にドラッグ

お話しできます

電話を切るとき
通話終了

履歴詳細画面で発信する回線を切り替えるとき

- ［アイコン］または［アイコン］をタップすると、発信（3G）／発信（PHS）に切り替わります。

画面ロック解除時に電話がかかってきたとき

- 応答をタップします。

電話帳を利用する

電話帳に相手の情報を登録しましょう。電話番号やメールアドレスはもちろん、写真や着信時の動作、住所などの情報も登録することができます。

●記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

電話帳を登録する

アプリケーションシートで（電話帳）

電話帳画面になります

アクションバー

アクションバーの（新規）

新規登録画面になります

登録する項目をタップ

内容を入力

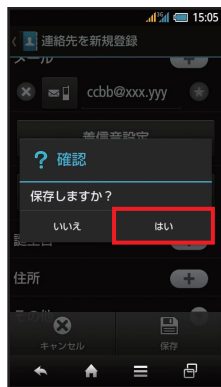
必要な項目の入力が終われば

キーボード右下に次へや完了が表示されているとき

●次へをタップすると、続けて次の項目を入力することができます。完了をタップすると、キーボードが閉じます。

基本アプリ

電話帳を利用する（続き）

保存

はい（登録完了）

電話帳の表示方法について

● お買い上げ時には、電話帳は名前順に表示されるように設定されています。アクションバーの（切替）をタップすると、グループ順や誕生日順に表示させることができます。

電話帳で電話をかける

電話帳画面で読みの行をタップ

利用する相手をタップ

電話帳詳細画面になります

利用する電話番号の
PHSまたは3G
(選択した回線で発信)

相手が電話を受けると

木村 哲也
070-392X-XXX2
通話中(PHS)
00:10
音量　消音　数字キー
音声メモ　スピーカー　電話帳
通話終了

通話開始➡
電話を切るとき
通話終了

電話帳詳細画面の見かた

1 名前
2 通話回線選択
3 電話番号
4 メールアドレス
5 顔写真／全身写真
6 電話発信
PHS:PHS、3G:3G
7 メール作成

電話帳利用時のご注意

電話帳に登録したデータは、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

発信する回線を切り替えるとき

- 「**通話回線選択**」欄のPHS/3GまたはPHS/3Gをタップすると、3G(3G回線での発信)／PHS(PHS回線での発信)に切り替わります。

メールを利用する

本機では、PHS／携帯電話やパソコンなどとやりとりができる「メール（MMS）」と、携帯電話との間で電話番号を宛先として短いメッセージを送受信する「SMS」が利用できます（「ライトメール」は利用できません）。

●PHSデータ通信によるメールの送受信はできません。

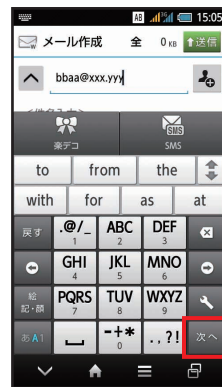
メール（MMS）を送信する

3ラインホームで［メール］

フォルダ一覧画面になります

新規作成

メール（MMS）作成画面になります

相手のメールアドレスを入力

次へ

Wi-Fi接続設定画面が表示されたとき

- 後で設定→OKの順にタップして、次に進んでください。
- Wi-Fiについて詳しくは、「Wi-Fiを利用する」（☞P.3-2）を参照してください。

電話帳や送受信履歴も利用できます

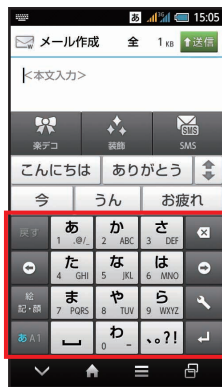
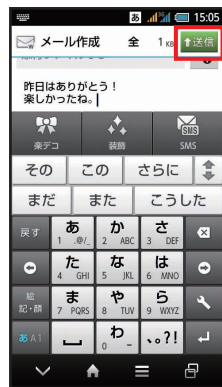
- <宛先入力>欄の［宛先追加アイコン］をタップすると、電話帳に登録されている相手や、以前に送受信した相手を簡単に指定することができます。

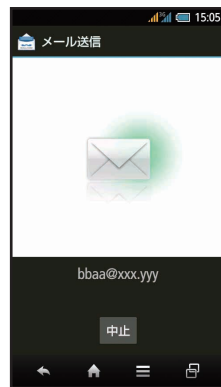
Gmailを利用する

● アプリケーションシートの（Gmail）で、Googleのメールサービスを利用できます。詳しくは、オンラインマニュアル（☞P.2-14）を参照してください。

インターネットメールを利用する

● アプリケーションシートの（メール）で、自宅や会社のパソコンなどで送受信しているインターネットメールを利用できます。詳しくは、オンラインマニュアル（☞P.2-14）を参照してください。

件名を入力➡次へ

本文を入力

アクションバーの送信（送信）

メール（MMS）が送信されます

写真などの画像を添付するとき

● をタップして、添付するファイルを指定します。

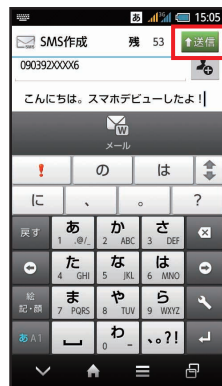
さまざまな設定も利用できます

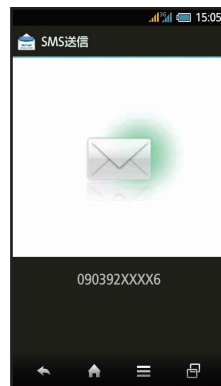
● フォルダ一覧画面で設定をタップすると、迷惑メール設定をはじめとする、メールに関するさまざまな設定が行えます。詳しくは、オンラインマニュアル（☞P.2-14）を参照してください。

SMSを送信する

フォルダー一覧画面で新規作成➡SMS

SMS作成画面になります

相手の電話番号を入力➡次へ

本文を入力➡アクションバーの送信（送信）

SMSが送信されます

メール（MMS）／SMSの送信に失敗したとき

- 圏外時などで送信に失敗したメールは、自動的に最大２回まで再送されます。

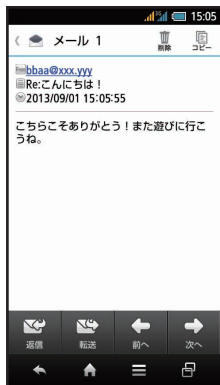
メールを返信する

メール詳細画面で➡返信➡返信メール作成➡⬆送信（送信）

受信メールを確認する

メールを受信すると
ウェルカムシートに お知らせが表示

「新着メールあり」部分 を下にドラッグ

メール詳細画面になります

ウェルカムシート（ロック画面）以外で受信したとき

ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開き、受信メール通知をタップします。

メール受信時の動作について

- あらかじめ設定されている着信音やバイブレータ、充電／着信ランプなどが鳴動します。
- ステータスバーにが表示されます。

インターネットを利用する

ブラウザを利用してインターネットに接続し、ウィルコム公式サイトや一般のパソコン用／スマートフォン用サイトなどを閲覧することができます。

- インターネットのサービス内容やパケット通信料など詳しくは、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
- 記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

インターネットに接続する

3ラインホームで🌐

ブラウザ画面になります

必要な項目（リンク）をタップして情報を閲覧

ブックマークに登録する

ブラウザ画面で☰→ブックマークへ登録

名前／URLを確認→OK

インターネットを終了するとき
ブラウザ画面で☰→ブラウザ終了
- ↩をくり返しタップして3ラインホームに戻っても、終了します。

ブックマークを利用するとき
ブラウザ画面で☰→ブックマーク一覧→利用するブックマークをタップ

カメラを利用する

本機には、写真（静止画）やビデオ（動画）が撮影できるカメラが搭載されています。
撮影した画像は、SDカードに保存されます。

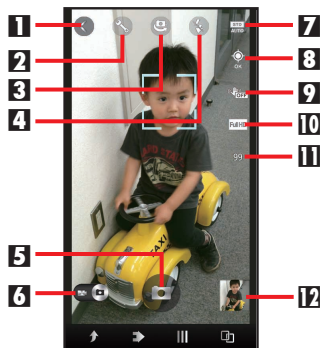
●記載以外の確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

静止画を撮影する

アプリケーションシートで（カメラ）

静止画撮影画面になります

本機のカメラを被写体に向ける→（撮影完了）

静止画撮影画面の見かた

1 シンプルモード／詳細モード切替
2 カメラ設定
3 インカメラ／アウトカメラ切替
4 モバイルライト設定
5 シャッター
6 静止画／動画切替
7 モード設定
8 位置情報測位状況（GPS機能On時に表示）
9 手ぶれ軽減
10 撮影サイズ
11 撮影可能残り枚数（99枚以下時に表示）
12 ミニプレビュー（直前の撮影画像確認）

動画を撮影するとき

●静止画撮影画面でをタップすると、動画撮影画面になります。動画撮影画面でをタップすると録画が開始され、で停止します。

本機の詳しい情報を確認する

本機の詳しい情報は、インターネット上の「オンラインマニュアル」で確認することができます。
また、パソコン用のPDFファイルもダウンロードできますので、目的に応じてお使いください。

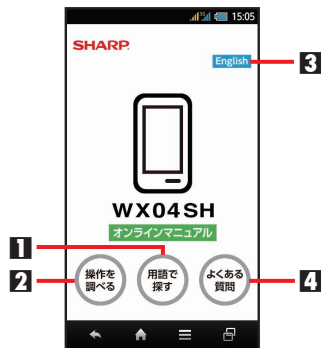
● ご利用にあたっては、インターネットへの接続が必要です。

オンラインマニュアルを見る

ショートカットシートで(オンラインマニュアル)

トップページになります

必要な操作を行い情報を閲覧

トップページの見かた

1 用語から知りたい情報を探して閲覧
2 メニューをたどって知りたい情報を閲覧
3 英語のトップページへ移動
4 よくある質問を閲覧

パソコン用PDFファイルについて

次のURLからダウンロードできます。

http://k-tai.sharp.co.jp/support/w/wx04sh/manual.html

便利な機能

Wi-Fiを利用する

本機はWi-Fi（無線LAN）に対応しており、ご家庭のWi-Fi環境（アクセスポイント）などを通じて、インターネットを利用することができます。

● Wi-Fiでの通信は、3Gデータ通信やPHSデータ通信よりも優先されます。

Wi-Fi設定を有効にする

1 アプリケーションシートで（設定）➡Wi-Fi設定

● Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 アクションバーのOFF

● Wi-Fi設定が有効になります（ON表示）。

アクセスポイントに接続する

1 Wi-Fi設定画面で、アクセスポイントをタップ

2 パスワードを入力➡接続

● アクセスポイントに接続されます。

パスワードについて

● パスワードは、ご家庭用のWi-Fiルーターであれば、「WEP」や「WPA」、「KEY」などと、ルーター本体にシールで貼られている場合があります。詳しくは、ルーターのメーカーにお問い合わせください。

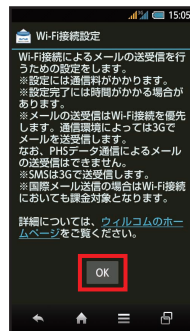
メールのWi-Fi接続設定を行う

Wi-Fiを利用してメール（MMS）の送受信を行うことができます。

1 3ラインホームで

2 設定➡Wi-Fi接続設定

● Wi-Fi接続設定画面が表示されます。

3 OK

4 OK

● Wi-Fi接続設定が完了します。

❶のあとすぐにWi-Fi接続設定画面が表示されたとき

● 今すぐ設定➡OKの順にタップすると、Wi-Fi接続設定が完了します。

SDカードを利用する

SDカードについて

本機では、microSDメモリカードおよびmicroSDHCメモリカードを利用することができます。**microSDXCメモリカードは利用できません**ので、ご注意ください。

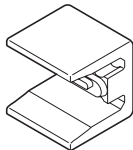
- 本書では、本機で利用できるメモリカードを「**SDカード**」と表記します。
- お買い上げ時には、試供品のSDカード（保証対象外）が取り付けられています。

SDカード利用時のご注意

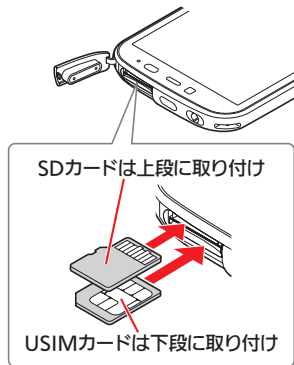
- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- SDカードの登録内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。

SDカードの交換について

■取り付け・取り外し用ツールについて

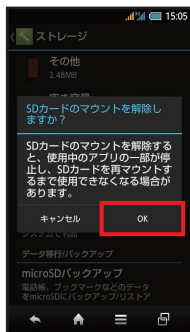
SDカードの取り付け／取り外しには、必ず付属の「**SDカード・USIMカード抜挿ツール**」（以降「**抜挿ツール**」と表記）を使用してください。
付属品以外を使用すると、本機やSDカードを破損する原因となります。

- 抜挿ツールには、USIM抜挿用の刻印と、SD抜挿用の刻印がありますので、カードに対応した刻印面を、本機の背面側に合わせてご利用ください。
- 抜挿ツールは、なくさないようご注意ください。

■SDカードの取り付け位置について

SDカード取り付け位置は、USIMカード取り付け位置との上下2段構造となっています。
SDカードを、誤ってUSIMカード取り付け位置に差し込んだり、誤った向きで差し込んだりしないよう、ご注意ください（下図参照）。

SDカードのマウントを解除する

SDカードを取り外すときは、必ずマウントを解除してください。

1 **アプリケーションシートで (設定)➡ストレージ**

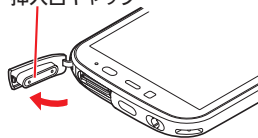
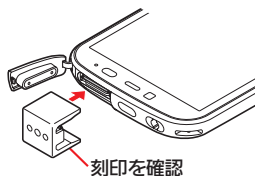
2 **microSDのマウント解除➡OK**

●項目名の表示が「microSDをマウント」に切り替わり、SDカードのマウントが解除されます。

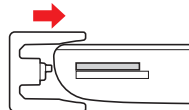
再度SDカードをマウントするとき
❷でmicroSDをマウント

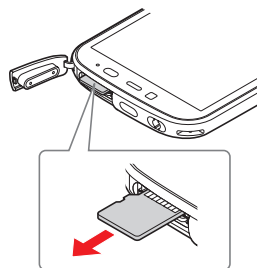
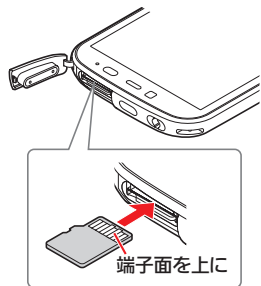
SDカードを交換する

必ず電源を切ったあとで行ってください。

1 **カード挿入口キャップを開く**

カード挿入口キャップ

2 **抜挿ツールの「microSD挿抜時：この面が背面側」の刻印面を下にして、本機の挿入口に合わせる**

●カード挿入口キャップは、抜挿ツールではさみ込まないようにしてください。

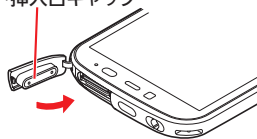
3 **抜挿ツールを、「カチッ」と音がするまで本機側に軽く押し込む**

●SDカードが少し飛び出てきますので、抜挿ツールを本機からゆっくりと手前に戻してください。すぐに戻すと、SDカードが飛び出してくることがあります。

4 **SDカードを取り外す**

5 交換するSDカードを、SDカード挿入口（上段）に差し込む

- 端子面を上にして差し込みます。

6 抜挿ツールの「microSD挿抜時：この面が背面側」の刻印面を下にして、本機の挿入口に合わせる

7 抜挿ツールを、「カチッ」と音がするまで本機側に軽く押し込む

- SDカードが正しく取り付けられたら、抜挿ツールを本機からゆっくりと手前に戻してください。

8 カード挿入口キャップを閉じる

- カード挿入口キャップは、確実に閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミなどがはさまると、水が浸入する原因となります。

SDカードをフォーマットする

購入した市販のメモリカードをはじめてお使いになるときは、必ず本機で次の操作を行い、フォーマットしてください。

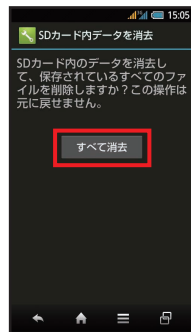
- フォーマットすると、SDカード内のデータがすべて消去されます。ご注意ください。
- フォーマットは、充電しながら行うか、本機が十分に充電された状態で行ってください。

1 アプリケーションシートで（設定）➡ストレージ

2 microSD内データを消去

3 SDカード内データを消去

4 操作用暗証番号を入力➡OK

5 すべて消去

- フォーマットが始まります。
- フォーマットが完了すると、SDカードがマウントされます。

電話帳を移行する

他の電話機の電話帳データ（vcfファイル）をSDカードに保存すれば、本機で利用する（読み込む）ことができます。

- あらかじめ、vcfファイルが保存されているSDカードを、本機に取り付けておいてください（フォーマットはしないでください）。
- 保存した電話機によっては、正しく読み込めないことがあります。

1 アプリケーションシートで🔧（設定）➡ストレージ

2 microSDバックアップ

3 読み込み➡電話帳

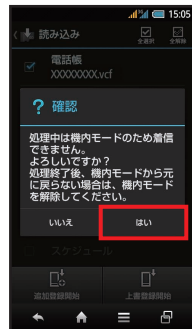
4 読み込むvcfファイルをタップ

- 選択した項目に☑が表示されます。

5 追加登録開始

- 本機の電話帳をすべて削除して登録するときは、上書登録開始をタップします。
- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

6 はい

- 読み込みが始まります。
- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

7 完了

- SDカード内の電話帳データが読み込まれ、本機に保存されます。

本機のはたらきを設定する

設定について

アプリケーションシートの🔧(設定)を利用すると、本機のはたらきを設定することができます。設定できる項目と内容は、次のとおりです。

項目	内容
プロフィール	自分の電話番号やメールアドレスなどを確認
サウンド・バイブ	マナーモードの設定や着信音、操作音などを設定
壁紙・ディスプレイ	壁紙や画面の明るさなどを設定
クイック起動キー設定	(クイック起動キー)を短押しまたは長押ししたときの動作を設定
省エネ	電池の消費を軽減する項目を設定/電池の利用状況を確認
端末情報	本機の状態を確認
アカウントを追加	アカウントの新規作成/追加、同期を設定
Wi-Fi設定	Wi-Fi接続の利用を設定
SoftBank Wi-Fiスポット設定	ソフトバンクWi-Fiスポットの利用を設定
通話	通話に関する機能を設定
メール	メールに関する機能を設定
ブラウザ	ブラウザに関する機能を設定
ホーム切替	ホームアプリの切り替え
チャージングシアター	3ラインホームまたはウェルカムシート(ロック画面)で充電を開始したときに静止画や動画を表示
データ使用	データ使用量に関する機能を設定
ストレージ	本体やSDカードのメモリ容量の確認、SDカードのマウント、SDカード内のデータを消去、データをバックアップ
アプリケーション	インストールしたアプリや、実行中のサービスを確認
その他の設定	その他の機能のはたらきを設定

- ここでは一部の機能を紹介しています。その他の操作について詳しくは、オンラインマニュアル(☞P.2-14)を参照してください。

電話をかける回線を設定する

電話発信時に優先する回線(PHS/3G)をあらかじめ設定しておくことができます。

1 アプリケーションシートで🔧(設定)➡通話

2 発信時優先回線設定

3 項目をタップ

- 発信のたびに確認に設定すると、お客様が追加でインストールしたアプリを利用して電話を発信する場合に、回線を確認する画面が表示されるようになります。

電池の消耗を軽減する

1 アプリケーションシートで (設定)➡省エネ

2 エコ技設定

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

3 技あり／お助け

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

エコ技設定について

- 「**技あり**」／「**お助け**」を選択した場合は、いくつかの機能が制限されます。また、「**お助け**」では画面の明るさが抑えられ、Wi-FiやGPSなどの通信機能が無効になります。
- 定期的に通信をするアプリの中には、「**技あり**」／「**お助け**」から「**標準**」に変更した場合、通信を開始しないものがあります。このときは、いったん本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

設定内容の変更／確認について

- 各モードの編集または確認をタップすると、設定内容の編集／確認ができます(「**お助け**」は、確認のみ)。
- 設定項目「**省エネ待受**」では、画面消灯時にバックグラウンドで動くアプリの動作を制限します(アプリによっては、画面消灯時に正しく動作しないことがあります)。
  「**技あり**」では、次の操作で制限するアプリを個別に設定することもできます。
  「技あり」の編集➡「省エネ待受」の? ➡OK➡設定するアプリの制限中／動作可

セキュリティ(ロック機能)について

第三者による本機の不正使用を防ぐため、本機には次のロック機能が搭載されています。

- 設定方法など詳しくは、オンラインマニュアル(☞P.2-14)を参照してください。

■シークレット設定

電話帳やメールのデータを、操作用暗証番号を入力して設定を解除しないと確認できないようにすることができます。

■画面のロック

画面ロックを解除するとき、専用の暗証番号(ロックNo.)やパスワードなどで本人確認を行うようにすることができます。

■USIMカードロック設定

電源を入れたとき、専用の暗証番号(PINコード)を入力しないと、本機を使用できないようにすることができます。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新について

本機は、あらかじめ指定されている時刻に、自動的にソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新が行われます。

- PHSデータ通信では、ソフトウェア更新は行えません。
- 手動で確認を行い、必要に応じて更新することもできます。

ソフトウェア更新にあたって

- 本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新が完了するまで、本機は使用できません。
- 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は行えません。

手動でソフトウェア更新する

1 **アプリケーションシートで (設定)➡端末情報**

2 **ソフトウェア更新**

3 **ソフトウェア更新➡実行**

- 以降は、画面の指示に従って操作してください。

ソフトウェア更新についてのご注意

- 電波状態のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります(更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります)。
- 本機にケーブルを接続しているときは、取り外してください。そのままでソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア書き換え完了画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

- 再起動後、更新完了のメッセージとインフォメーションが表示されます。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

- 本機を手動で再起動してください。操作について詳しくは、「**強制的に電源を切る**」(☞P.4-17)を参照してください。それでも起動しないときは、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 お客様相談センターにご相談ください。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用暗証番号	各機能を利用するときに使います（お買い上げ時は設定なし）。
ロックNo.	画面ロックの解除に使う暗証番号です。

- 暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。
- 他人に知られ悪用されたときは、その損害について責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各機能で暗証番号の入力を間違えると

- 入力間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。

操作用暗証番号を設定する

1. アプリケーションシートで（設定）➡その他の設定
2. ロックとセキュリティ

3. 操作用暗証番号設定➡OK
4. 設定する操作用暗証番号入力➡OK

5. 設定する操作用暗証番号を再度入力➡OK
6. OK

付録

おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

WX04SH本体

項目	仕様
質量	約120g(内蔵電池を含む)
内蔵電池容量	2,080mAh
連続通話時間※1	約14時間(PHSモード) 約13時間(3Gモード)
連続待受時間※2	約400時間(PHS/3Gモード)
ワンセグ連続視聴時間※3	約9.5時間
充電時間(本機の電源を切って充電した場合)	約3.5時間 (ACアダプタ AC01-MU-K使用時)
サイズ(幅×高さ×奥行)	約60×122×11.9mm(突起部 除く)
最大出力	0.01W(PHSモード) 0.25W(3Gモード)

※1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

※2 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信/緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境(充電状況、気温など)や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。

※3 ワンセグ連続視聴時間とは、電池の充電を満たし、サウンド設定「**サラウンド**」、画面サイズ設定「**標準**」の条件で、イヤホンマイクを使用し、電池残量約10%を残した計算値です。

- 左記の時間は、エコバックライトコントロールを「OFF」、アウトドアビューを「ON」、画面の明るさを「**21段階中の11段階目**」に設定したときの数値です。
- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

使用材料

WX04SH本体

使用箇所	使用材料／表面処理
キャビネット（ディスプレイ側）	PA樹脂＋GF樹脂／UV塗装
背面カバー	PC樹脂／UV塗装、印刷
カード挿入口キャップ	PC樹脂＋エラストマー樹脂／UV塗装
カード挿入口キャップ（パッキン部）	PC樹脂＋シリコンゴム＋ステンレス
電源キー	PC樹脂／UV塗装
クイック起動キー	PC樹脂／不連続蒸着、UV塗装
イヤホンマイク端子	ナイロン樹脂
ディスプレイ	強化ガラス／印刷
カメラ窓	PC樹脂＋アクリル樹脂／印刷
赤外線ポート	ABS樹脂
モバイルライト窓	アクリル樹脂
スピーカーメッシュ	PET

付属品

■SDカード・USIMカード抜挿ツール（試供品）

使用材料／表面処理	POM樹脂

4 防水性能について

本機の防水性能

本機は、カード挿入口キャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2相当の防水性能を有しています（防塵性能は有しておりません）。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- **実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。**
- **本機は、IPX5／IPX7の防水性能を有していますが、清涼飲料水、海水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。**

本機のお取り扱いについて

- カード挿入口キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）がはさまると、水が浸入する原因となります。
- カード挿入口キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、カード挿入口キャップの開閉は絶対にしないでください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、故障・やけど・火災の原因となります。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ■ 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ■ 海水、プールの水
  - ■ 温泉、熱湯　など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温（5℃～35℃）の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本体に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。

- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください(キー操作を含む)。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。
- 本機は温度:5℃~35℃、湿度:35%~90%の範囲でご使用ください(風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃~40℃の範囲で可能)。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口、受話口、スピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥(☞P.4-7)を行ったうえでご使用ください。
- ACアダプタなどのオプション品は、防水対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- タッチパネルに水滴が付いている状態や濡れた指でタッチ操作を行った場合、正しく動作しないことがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- カード挿入口キャップに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにお問い合わせください。

充電時のご注意

- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。必ず乾燥させてからお使いください。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 外部接続端子部に水が浸入したときは絶対に充電しないでください。充電する前には、必ず水抜き(☞P.4-7)を行ってください。

防水性能を維持するために

- カード挿入口キャップのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - カード挿入口キャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水が浸入する原因となることがあります。
  - カード挿入口キャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにご相談のうえ、ゴムパッキンを交換してください。
- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、カード挿入口キャップを交換することをおすすめします。お客様ご依頼によるカード挿入口キャップの交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「**お問い合わせ先**」（☞P.4-42）または、お近くのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンターへご相談ください。

本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流［6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水］で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。カード挿入口キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。よく乾燥したあと、電源を入れてください。

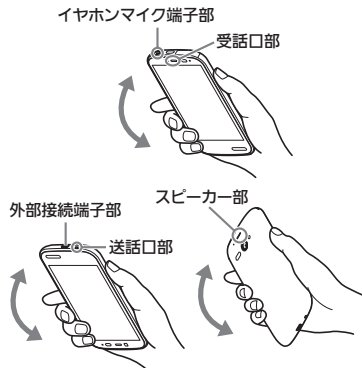
- カード挿入口キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障・やけど・火災の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

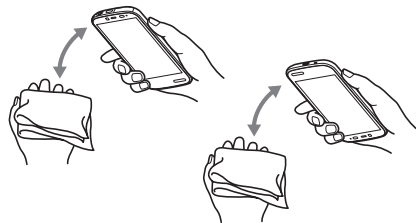
水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず次の各部の水抜きを行ってください。

- イヤホンマイク端子部、受話口部、外部接続端子部、送話口部、スピーカー部

本機の表面の水分を乾いた布などで拭く

2 本機をしっかりと持ち、20回程度振る

- 本機を振るときは、落とさないように注意してください。

3 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、各部の穴に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置する

水を拭き取る際のご注意

- 各部の穴の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。

水抜き後のご注意

- 水滴が付着したままで使用しないでください。
  - ■ 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
  - ■ イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートする恐れがあります。
  - ■ 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

4 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIMカード、SDカード、ACアダプタ（オプション品）の取り扱いについて（共通）

本機に使用するACアダプタ（オプション品）は、指定されたものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部・ACアダプタを濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機にACアダプタをうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。
ACアダプタのmicroUSBプラグの向きを確かめてから、接続を行ってください。

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用していますが、落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。

ディスプレイが破損し、ガラスが鋭利な破片となって、激しく飛散する恐れがあります。万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。けがの原因となります。

本機・ACアダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応電話機をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
2. やけどやけがに注意して、本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子に、水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。

本機が濡れている状態で絶対に充電しないでください。

感電や回路のショートなどによる火災・故障・やけどなどの原因となります。

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

内蔵電池の取り扱いについて

危険

電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

警告

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

本機の使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

ペットが本機に噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

注意

不要になった本機を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

電池を内蔵していますので、お近くのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンターへお持ちください。適切に処理いたします。

本機の取り扱いについて

警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら電話機を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に車を止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で電話機が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

付録

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料：P.4-3）。

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

禁止

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。

本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

ACアダプタ（オプション品）の取り扱いについて

⚠ 警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

- ACアダプタ：AC100V-240V（家庭用ACコンセント専用）

また、海外旅行用として、市販されている「**変圧器**」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持って、コンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。
感電などの原因となります。

ACアダプタは、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

注意

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「**医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針**」（電波環境協議会［平成9年4月］）に準拠、また「**各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針**」（総務省［平成25年1月］）の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、電話機の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または電話機の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリケーションをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずウィルコムサービスセンターまでご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 事故や故障、修理などにより本機/SDカードに登録したデータ(電話帳・音楽・静止画・動画など)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やワンセグ視聴が困難になることがあります。また、通話・ワンセグ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話や映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - ■傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「**Google Play™**」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容(品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など)およびそれに起因するすべての不具合(ウイルスなど)につきましては、一切の保証を致しかねます。

microUSBケーブル充電利用時のご注意

市販品のmicroUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、自動的に本機の電源が入ることがあります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では本機とパソコンの接続を行わないようご注意ください。

高温時のご注意

- 操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したり、画面の明るさが調整される場合があります。
  また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。
- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。

技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報（技適マーク等）を確認できます。

アプリケーションシートで（設定）➡端末情報➡技術基準適合証明

お取り扱いについて

- 電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ■ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - ■カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 本体の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。また、防水性能を損なう原因にもなります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

強制的に電源を切る

本機が、動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、⏻を11秒以上押してください。数秒間待ったあとに⏻を長押しすると、本機が起動します。

内蔵電池について

- 電池は本機内に内蔵されています。
- 充電しても使用時間が極端に短い場合は、内蔵電池の寿命の可能性があります。次の操作で、内蔵電池の充電能力をご確認ください。

アプリケーションシートで🔧(設定)➡端末情報➡端末の状態➡電池の状態

- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の保管をしないようにご注意ください。
  - ■ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
  - ■ 電池残量がない状態(本体の電源が入らないほど消費している状態)での保管
- お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなることがあります。長期間保管・放置するときは、半年に1回程度補充電を行ってください。
- 内蔵電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、本機をお預かりして有料にて承ります。ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センターにご相談ください。

オールリセットについて

オールリセットすると、本機のシステムメモリのデータがすべて消去されます(お買い上げ時にインストールされている一部のアプリケーションも含みます)。
リセットした内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

タッチパネルについて

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - ■ 手袋をした指や爪の先での操作
  - ■ ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったものでの操作
  - ■ 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - ■ 濡れた指で操作しない
  - ■ タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
  - ■ 強く押し過ぎない
  - ■ タッチパネルに市販のシールなどを貼らない
- タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などで拭いてからご使用ください。
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。

アプリケーションシートで🔧(設定)➡端末情報➡タッチパネル補正➡画面に従って操作

- 次のようなときは、[⏻]を押して画面を消灯させたあと、再度[⏻]を押して画面を点灯させてから操作してください。
  - ■ 画面に触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
  - ■ 画面に触れても、本機が反応しないとき

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

Wi-Fi（無線LAN）について

無線LAN（以降「**Wi-Fi**」と記載）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります）。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、ウィルコムサービスセンター（☞P.4-42）までお問い合わせください。

- **周波数帯について**

  この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。
  次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

  アプリケーションシートで（設定）➡端末情報➡認証

  2.4DS/OF4

■Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi（IEEE802.11b/g/n）は、Bluetooth®と同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャンネルは1-13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「**他の無線局**」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「**他の無線局**」が運用されていないことを目視で確認してください。
2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「**他の無線局**」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止してください。
3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、ウィルコムサービスセンター（☞P.4-42）までお問い合わせください。

- **周波数帯について**

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。
次の操作で、周波数帯に関する情報を確認できます。

アプリケーションシートで（設定）➡端末情報➡認証

緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「**有効**」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 3G通話中、3G通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「**有効**」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

SSL／TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL／TLS（インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法）を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。お客様ご自身によるSSL／TLSの利用に際し、株式会社ウィルコム、シャープ株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性などに関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「**著作権侵害**」「**著作者人格権侵害**」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。
  アプリケーションシートで（設定）➡端末情報➡法的情報➡オープンソースライセンス
- GPL、LGPL、Mozilla Public License（MPL）に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
  詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

動画の撮影/再生の技術には「**MPEG-4**」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.
See http://www.mpegla.com for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)AVC規格準拠のビデオ(以下「**AVCビデオ**」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「**VC-1ビデオ**」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ⅱ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Excel®、Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

aptXはCSR plc.の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび®は、シャープ株式会社の登録商標です。

「Mobage」は、株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標または商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

Bluetooth®

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「**Wi-Fi CERTIFIED™**」という認定が与えられています。

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）で、無線LANの接続設定内容（SSIDや認証方式、暗号キーなど）をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access® (WPA)、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

Google 、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Android マーケットロゴ、Google+™、Google+ ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google トーク™、Google トーク ロゴ、Google マップ ナビ™、Google マップ ナビ ロゴ、Google+ ローカル™、Google Chrome™、Chrome ロゴ、Google 音声検索™、Google 音声検索 ロゴ、Picasa™、Picasa ロゴ、YouTube™ および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

音声コーデックには Jean-Marc Valin/Xiph.Org Foundation の Speex を使用しています。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2009-2013 All Rights Reserved.

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。
*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

「**GALAPAGOS**」、「**GALAPAGOS STORE**」、「**AQUOS PHONE**」、「**AQUOS PHONE**」ロゴ、「**アクオス**」、「**AQUOS**」、「**AQUOS**」ロゴ、「**Feel UX**」、「**ベールビュー**」、「**VeilView**」、「**ファミリンク**」、「**FAMILINK**」、「**エコ技**」マーク、「**エコ技**」、「**SH SHOW**」ロゴ、「**文辞技**」、「**アウトドアビュー**」、「**クイックツールボックス**」、「**エコバックライトコントロール**」、「**Sweep ON**」、「**Shake OFF**」、「**Bright Keep**」、「**チャージングシアター**」、「**ON速起動**」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「**ジーニアス和英辞典MX第2版**」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「**ジーニアス英和辞典MX増補版**」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「**明鏡国語辞典MX第二版**」©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012

Ustreamの名称およびそのロゴは、米国およびその他の国におけるUstream, Inc.の登録商標または商標です。

PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標または商標です。

「**Twitter**」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。

Facebook®およびFacebookロゴは、Facebook, Inc.の登録商標または商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「**モバイルSuica**」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.
emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

「**Yahoo!**」および「**Yahoo!**」「**Y!**」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

「**mixi**」および「**mixi**」ロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。

デコレメール、楽デコ、スマセレはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

電話機の比吸収率(SAR)について

電話機の比吸収率※1(SAR)について

この機種【WX04SH】の電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準※1は、人体頭部のそばで使用する電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※2の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

本機【WX04SH】の SARは、PHS方式時は0.036W/kg、3G方式時は0.357W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、本機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、本機は、基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

■側頭部以外の位置でご使用になる場合

本機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、本機は電波防護の国際ガイドラインに適合します※3。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 平成9年に(旧)郵政省 電気通信技術審議会により答申された「**電波防護指針**」に規定されています。

※3 電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「**米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報**」「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」をご参照ください。

米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は<0.10W/kgです。
身体装着の場合:本機【WX04SH】では、一般的な電話機の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に電話機を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety(英文のみ)
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

本機【WX04SH】は無線送受信機器です。本機は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.275W/kgです。
SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)
http://www.who.int/emf

Quick Tips

Before Using Handset

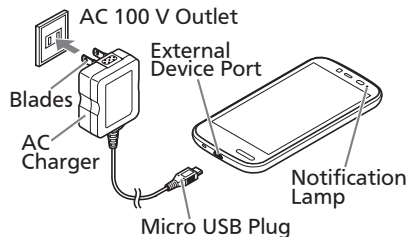
Charge handset before powering on for the first time (not adequately charged at time of purchase).
- Handset may not power on when charge is low.
- If handset does not power on even after charging, contact WILLCOM Service Center or Sharp Customer Assistance Center.

Accessories

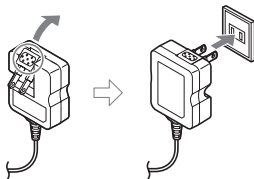
- SD/USIM Card Insertion/Removal Tool (complimentary sample)
- microSD Card (complimentary sample, preinstalled)

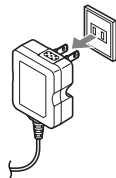
(Battery is built into handset; handset back cover is not removable.)

Charging

AC Charger is not included in the package; purchase **WILLCOM AC Charger 01 (AC01-MU-K)** separately.
- AC Charger is not water proof. Never charge handset while it is wet; may cause electric shock, or fire, malfunction, burns, etc. due to short-circuiting.
- Handset/AC Charger may become warm while charging.

❶ Insert Micro USB plug into External Device Port

- Insert Micro USB plug in correct orientation; otherwise, External Device Port may be damaged. Confirm contours and orientation of Micro USB plug before inserting it.

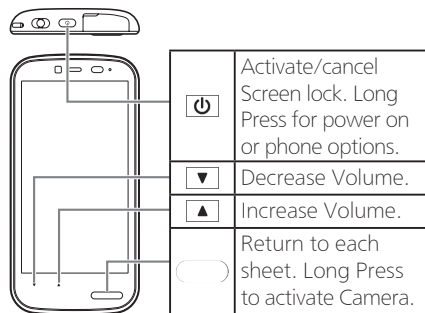
2 Rotate blades out as shown, then plug AC Charger into AC outlet

- Notification Lamp illuminates while charging.
- Notification Lamp goes out when charge is full.

3 Unplug AC Charger and retract blades

4 Remove Micro USB plug from External Device Port

Handset Keys

Key	Function
⏻	Activate/cancel Screen lock. Long Press for power on or phone options.
▼	Decrease Volume.
▲	Increase Volume.
(Home key)	Return to each sheet. Long Press to activate Camera.

Navigation Bar

Icon	Function
(Back)	Return to previous screen.
(Home)	Return to each sheet.
(Menu)	Open Options menu.
(Recent apps)	Open application usage history.

- In each sheet, Phone, Mail, and Browser can be activated by Tapping corresponding icon (, ,).

Basic Operations

Power On/Off

■Power On

⏻ (Long Press)

After Powering On for the First Time

利用する ➡ Drag 🔓 down ➡ 🏠 ➡ Change interface to English (See "English Interface" below)

Unlocking Touchscreen

Drag 🔓 down.

Screen Lock

After a period of inactivity or Pressing ⏻, Display goes completely dark and Screen lock activates. To cancel, Press ⏻; lock screen appears.

■Power Off

⏻ (Long Press) ➡ *Power off* ➡ *OK*

English Interface

In application sheet, (設定) ➡ *その他の設定* ➡ *言語と文字入力* ➡ *言語 (Language) を選択* ➡ *English*

付録

My Phone Number

In application sheet, (Settings) ➡ *Profile*

General Notes

Handset

Do not disassemble or modify handset.

Electromagnetic Safety in Europe

For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 0168

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that WX04SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

■Battery Cautions

Use specified AC Charger only.
Non-specified equipment use may cause Internal Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause AC Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a WILLCOM Plaza/ WILLCOM Counter for appropriate disposal.

Charge handset in ambient temperature 5°C - 35°C; Internal Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

■Mobile Light

Do not shine Mobile Light in eyes.
May temporarily affect eyesight or startle, leading to accidents.

■European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.528 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.275 W/kg***. As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
Please see "Electromagnetic Safety in Europe" on **P.4-32 for important notes regarding body-worn operation.
***A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in

Quick Tips (Continued)

October 2011 by the Information and Communications Council.

World Health Organization
http://www.who.int/emf

■Headphone Signal Level

The maximum output voltage for Music Player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 12.0 mV.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

■FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a

unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when worn on the body in a holder or carry case, is < 0.10 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 15 mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 15 mm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID APYHRO00195.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/.

Customer Service

◆Handset Operations◆

■Sharp Corporation
Customer Assistance Center

0120-606-512

*May not be accessible from some IP phones.

Business hours: 9:00 AM to 6:00 PM, Monday through Friday
(Excluding national holidays, New Year holidays and other company holidays)

◆Repairs of Handsets◆

■Sharp Corporation
Communication Systems Group
Mobile Telecommunication Services Business Promotion Center
Repair Service Promotion Dept. Kinki Center 2 (PHS)

0570-081010

*Flat rate from anywhere in Japan.
*From an IP/PHS phone, dial **06-6794-9708**.

Business hours: 9:00 AM to 5:40 PM, Monday through Friday
(Excluding national holidays, New Year holidays and other company holidays)

◆WILLCOM Services◆

■WILLCOM Service Center

●General Information

From a WILLCOM handset, dial at 151 (charges apply)
*"**Dare To Demo Teigaku**" free call plan applies.

From another carrier's mobile phone, landline, etc., dial at 0570-039-151 (charges apply)
Operators available 9:00 AM to 8:00 PM, 7 days a week

●Services

From a WILLCOM handset, dial toll free at 116

From another carrier's mobile phone, landline, etc., dial toll free at 0120-921-156
Automated voice response system available 24 hours a day, 7 days a week

Charges may apply if operator assistance is required for the service.

索引

か

き

く

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

は

保証とアフターサービス

保証について

保証書は、本書(裏表紙)にあります。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
- 保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です(ただし電池、試供品、消耗部品は除きます)。

■ 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、本機に登録したデータ(電話帳・音楽・静止画・動画など)や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本機を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

■補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後5年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

オンラインマニュアル「**故障とお考えになる前に**」をご覧になってお調べください。それでも異常があるときは使用を止めて、ウィルコムサービスセンターまたはシャープ株式会社 移動体サービス事業推進センター(☞P.4-42)にお問い合わせください。ご自分での修理はしないでください。

- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

4

お問い合わせ先

◆電話機の操作方法に関するご相談・お問い合わせ◆

■シャープ株式会社

お客様相談センター

0120-606-512

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

［受付時間］月曜～金曜　9：00～18：00

（土・日・祝日および年末年始等、弊社休業日を除く）

◆電話機の修理に関するお問い合わせ◆

■シャープ株式会社

通信システム事業本部
移動体サービス事業推進センター
サービス推進部　近畿第2センター　PHS担当

0570-081010

※ 全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

※ IP電話・PHSからはご利用いただけません。
06-6794-9708におかけください。

［受付時間］月曜～金曜　9：00～17：40

（土・日・祝日および年末年始等、弊社休業日を除く）

◆ウィルコムのサービスに関するお問い合わせ◆

■ウィルコムサービスセンター

●総合窓口（通話料有料）

ウィルコムの電話から　**151**

※「**だれとでも定額**」の無料通話対象となります。

他社ケータイ、固定電話などから　**0570-039-151**

［オペレーター対応時間］9：00～20：00（年中無休）

●各種お手続き（通話料無料）

ウィルコムの電話から　**116**

他社ケータイ、固定電話などから　**0120-921-156**

［受付時間］自動音声応答にて24時間受付（年中無休）

オペレーターが受付けした各種お手続きは、内容により手数料がかかります。

付録

【無料修理規定】

1. 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
   (イ) 本書のご提示がない場合。
   (ロ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   (ハ) 使用上の誤りによる故障および損傷。
   (ニ) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (ホ) お買い上げ後の落下、水の浸入および圧迫などによる故障および損傷、または落下、水没、水濡れなどの痕跡がある場合。
   (ヘ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、異常電圧など不慮の事故による故障および損傷。
   (ト) 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。(著しくゴミ、ホコリなどが付着している場合も同様とします。)
   (チ) 指定以外の電池パック・充電器などをお使いになり故障した場合。
   (リ) 電池(内蔵型・電池パック型)、その他消耗部品の交換。
3. 本製品が不当に修理や分解／改造された場合や本体貼付ラベルを改変および取り外した製品は、修理(有料修理を含む)をお引受けできない場合があります。
4. 本製品内部に水分の付着などによる腐食が認められた場合や破損が著しい場合は、修理不能(有料修理を含む)となる場合があります。
5. 本製品を指定外の機器と接続した場合、万一発生する事故については責任を負いかねます。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
7. 修理により交換した交換元部品の所有権は、有料修理、無料修理を問わず、シャープ株式会社に帰属します。
8. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
9. 修理内容につきましては別途書面によりご説明いたします。

修理メモ

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

保 証 書

形名	WX04SH	取扱販売店名・住所・電話番号
お客様	ふりがな お名前　　　　　　様	
	ご住所 〒	
	電話番号 (　　　)　　　ー	

保証期間	お買い上げ日 年　　月　　日 より
	本体は1年間（ただし電池、試供品、消耗部品は除く）

持込修理

本書は、裏面記載の範囲で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、取扱説明書に記載のウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。
保証書記載の個人情報の取扱いに関する詳細は、
http://www.sharp.co.jp/support/guarantee-cp.html
をご参照ください。

シャープ株式会社

本　社
〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
通信システム事業本部
〒739-0192　広島県東広島市八本松飯田2丁目13番1号

販　売　株式会社ウィルコム
製造元　シャープ株式会社

2013年9月 第1版
TINSJB040AFZZ
13H 50.2 TR AI100①